

# 令和3年度 林業普及週間現地情報 (7/12～7/16)

森林管理課

## 島材ネームプレートの製作

7月12日(月)

令和元年度から島材普及の試みとして、島内木工業者（有限会社うえざと木工）にご協力いただき、石垣島内の木を使用した県職員用のネームプレートを製作している。

使用樹種は、これまでのイヌマキ、リュウキュウマツ、テリハボク（ヤラブ）、カラスザンショウ、センダン、ソウシジュに加え、今年度から台湾オガタマノキも新たに加わり、上記7樹種から好みの樹種を選定することが可能となった。

台湾オガタマノキはモクレン科モクレン属の常緑高木で、石垣島、西表島、与那国島、台湾に分布しており、その材質は堅く優れていることから、建築材や家具材などとして利用され、有用樹の一つとされている。

完成したネームプレートは樹種毎に色合いも異なり、それぞれ樹種の木目を活かした味わい深い仕上がりとなった。

今後も、八重山管内の県職員を中心にこのネームプレートを使用していただくことで、島材の魅力発信・普及につなげていきたい。



台湾オガタマノキ



センダン



ソウシジュ



カラスザンショウ

※氏名は個人情報保護のため加工



イヌマキ



リュウキュウマツ



テリハボク (ヤラブ)

※氏名は個人情報保護のため加工

(報告者：八重山農林水産振興センター 金城彰太朗、金城智之)